

松阪市社会福祉協議会 歳末たすけあい地域福祉活動助成事業要綱

(目 的)

第1条 この要綱は、松阪市社会福祉協議会（以下「社協」という。）が、地域計画等を基に各地域でまちづくりを推進していくにあたり、計画に基づいて自主的な取り組みを実施する地域に対して助成を行うことで、地域福祉活動の推進を図ることを目的とする。

(対象団体)

第2条 地域計画書等を基に、各自治連合会等・地区福祉会・住民協議会・地域福祉活動計画推進委員会等で次の各号のいずれかに該当する1団体とする。

- (1) 小学校区単位で事業を実施する団体
- (2) その他、社協会長が認める団体

(対象事業)

第3条 各地域で策定した地域計画書や、地域の実情に応じて実施する年度計画に記載された項目に基づき福祉活動を推進していく事業とする。

(対象経費)

第4条 助成金の交付対象となる経費は、申請団体が対象事業を実施するために直接要する経費であって、次の各号に掲げるものとする。

- (1) 需用費関係
- (2) 備品購入費関係
- (3) 役務費関係
- (4) 使用料関係
- (5) 報償費・旅費関係
- (6) 食材料関係
- (7) その他松阪市社協会長が、必要と認めた経費

(限度額)

第5条 共同募金配分助成事業予算の範囲内とする。

(交付申請)

第6条 助成を受けようとする申請団体は、歳末たすけあい地域福祉活動助成事業交付申請書（様式第1号）を社協が示した期日までに社協会長へ提出する。

(交付決定)

第7条 社協会長が前条の申請書を受理したときは、その内容を審査して助成の可否を決定し、歳末たすけあい地域福祉活動助成金交付決定通知書を申請団体へ交付する。

2 助成に係る審査基準は次の各号に掲げるものとする。

- (1) 事業の目的が適切であること
- (2) 使途が適正であること
- (3) 事業の実施に必要な経費のうち、自己負担すべき額を確実に保有していること
- (4) その他、助成の目的を有効に達成できる見込みがあること

(決算の報告)

第8条 助成金の交付を受けた事業について、事業が終了後1ヶ月以内に、速やかに第2号様式により事業報告書(付表3)に事業の実績を証する書類及び収支決算報告書(付表4)を添えて提出する。

(助成の取消、返還)

第9条 助成を受けた団体が、災害その他特別な事由による場合を除く他、正当な理由なく次の各号に掲げるいずれかに該当するときは、助成金の全額または一部を返還しなければならない。

- (1) 助成対象である事業を実施せず、また実施する意思が認められないとき
- (2) 助成事業である事業を中止し、完了する見込みがないとき
- (3) 助成金を目的外に使用したとき

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は会長が定める。

附 則

この要綱は、平成28年9月1日より施行する。

この要綱は、平成30年7月19日より施行する。